

沼田町は

今年、開拓120年を迎えます。

広報

2014.2.27
No.576

ぬまた2月号

自立と感謝の気持ちを持つ成人へ



1月12日（日）成人式での恩師を囲んでの記念写真

今月の主な内容	
★沼田厚生病院が『無床の診療所』に・	2
★成人式・	10
★まちのニュース・	12
★ふるさとづくり基金寄付他・	22
★ふれあいINFO・	23
★沼田消防から（消報）・	24
★沼田警察署から・	25
★生涯学習ゆめつくる・	26

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！
また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。



4月1日から、沼田厚生病院は無床の診療所『沼田厚生クリニック』（厚生連が継続して運営）となります。

（3月31日までは今までどおり、救急や入院を含めて病院としてご利用いただけます。）

沼田厚生クリニックの概要

●常勤の医師2名
で通院患者を診
察する診療所

診療体制



●午前 8:30
～午後 5:00
午前受付 8:30～11:30
午後受付 1:15～4:15

診療時間
（受付時間延長）



●内科・外科
（皮膚科は隔週金曜）

診療科目



●毎週
火～木曜の午後

訪問診療
（新規）



●毎週 月～木曜
（生活習慣病健診は
毎週火～金曜）

人間ドッグ
（拡充）



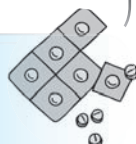
●週3回程度を予定

リハビリ



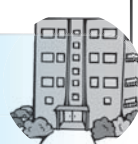
●当分の間、診療
所内にて処方

薬局



●当分の間、現在
の厚生病院の建
物を使用

場所



●血液
●心電図
●X線
●CT検査 等

検査



このたび、沼田厚生病院を運営するJA北海道厚生連より、平成26年度以降の沼田厚生病院の医療従事者の確保が出来なくなったことなどの理由から、平成26年4月1日より入院病床を有する病院から、「通院患者だけを診察する無床診療所にしたい」との提案があったところで

す。町では、2月7日～10日に町内4か所で「沼田厚生病院の無床診療所化に伴う町民説明会」を5回にわたり開催させていただき、その経過説明と町の考え方、今後の対応策等を皆様にご説明申し上げ、ご意見・ご要望をお聞きしたところであります。

説明会に出席された方からは、診療所化後の「薬局」について、「レントゲン等の医療機器による検査」について、「医師、看護師等の職員体制」について等の質問が出されましたが、いずれも安心して受診できる体制が整っていることの説明により町民皆様の理解を得られました。

診療概要

内科 (金谷医師)

●平日
(月～金曜日)

午前 8:30 ～
午後 5:00

午前受付
8:30 ～ 11:30
午後受付
1:15 ～ 4:15

火・木曜日の午後
は訪問診療等
のため休診

外科 (鳥本医師)

●平日
(月～金曜日)

午前 8:30 ～
午後 5:00

午前受付
8:30 ～ 11:30
午後受付
1:15 ～ 4:15

水曜日の午後は
訪問診療等のため
休診

皮膚科 (水元医師)

●月 2 回
(隔週) 金曜日

午後 1:15 ～
午後 5:00

受付(午後のみ)
1:15 ～ 4:00

その他

●理学療法
(リハビリ)

週 3 回

午前・午後診察
予定

今後の救急体制

●原則として
深川市立病院
へ

●夜間急病
テレフォン
センターへ
(深川市立病院内)
TEL 22-4100

●『広報お知らせ版』に掲載

●緊急出動した
救急隊より要
請
(今までどおり)

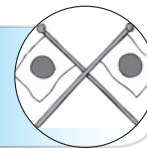
救 急



夜 間



休 日
当番医



ドクター
ヘリ



沼田町としては、医療機関を残すことを大前提に、4月1日から無床の診療所化とする決断をいたしました。今後においても町民が不安や心配に思うことが無いようその都度対応策をお示し、取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、各行政区や団体等における説明会もご希望があれば随時開催致しますので、お気軽にお申し付け下さい。

【連絡先：35 - 2155 (政策推進室)】





無床診療所化に伴い 町では新たなサービスを 開始します。



＝町民皆さんに在宅で安心して

生活いただくための主な事業＝

①生活支援サービス



新サービス

ヘルパー派遣(和風園)

・在宅で介護が必要な方（要介護認定者）のご自宅へ和風園の介護職員がお伺いし、介護や日常のお世話をします。

【24時間・365日対応します】

拡充サービス

在宅介護サービス利用奨励手当(予定)

・ご自宅で生活される要介護度3以上の方が、居宅サービスを毎月1種類以上利用される場合に助成をいたします。

【助成月額】 5,000 円 → 10,000 円

既存サービス

●ヘルパー派遣(社協)

・在宅で介護が必要な方（要介護認定者）のご自宅へホームヘルパーがお伺いし、介護や日常のお世話をします。

【基本】 月～金曜日 午前8:45～午後5:15 （必要に応じて土、日曜日も実施）

●緊急通報システム

・一人暮らしの65歳以上の高齢者（身体の虚弱な方）及び高齢者世帯等に、非常時に消防に連絡できるペンダント型送信機やガス漏れ警報器の貸し出しをしています。

●配食サービス(社協)

・概ね65歳以上の単身高齢者世帯及び高齢者のみの世帯の調理が困難な方に、ご自宅へ訪問配食を行っています。【毎週木曜日に開催しています】

●家族介護用品支給事業

紙おむつ等介護用品を支給します。

（要介護度4又は5で在宅介護サービスを受けている、非課税世帯の方）

②施設利用サービス



重要サービス

生活管理短期宿泊事業 (和風園)

・介護認定を受けていない方に対し、和風園等で短期間宿泊し、生活のリズムを整えて体調の調整を図るお手伝いをします。概ね65歳以上で日常生活に指導・支援の必要な方が対象です。

既存サービス

●ショートステイ(和風園・旭寿園)

・在宅で介護が必要な方(要介護認定者)は、和風園・旭寿園に短期入所(ショートステイ)して、介護や機能訓練を受けて頂くことができます。冠婚葬祭、介護される方がお仕事で忙しい時や休養にご利用ください。

●デイサービス

・在宅で介護が必要な方(要介護認定者)は、旭寿園に併設のデイサービスセンター等で食事・入浴等の介護や機能訓練を日帰りで提供しています。(送迎あり)

●生きがいデイサービス

・自立生活に支援の必要な在宅の高齢者、身体障がい者の方に、自立した生活を送っていただくための生活指導・日常動作訓練等のサービスを提供しています。

【毎週木曜日に開催しています】

③交通支援サービス



新サービス

高齢者等入院交通費助成(予定)

・世帯員全員が65歳以上の世帯の方が町外医療機関に入院した場合、付き添い等に必要な交通費を一部助成します。

【入院日数2日あたり500円+入退院時に各5,000円加算】

既存サービス

●重度身体障がい者【児】ハイヤー代助成

・重度身体障がい者【児】(身障手帳1・2級)の生活圏拡大のためハイヤー代金の一部を助成します。【身体障がい者初乗り料金分チケットを年間24枚(役場より2.5km圏域超に居住されている方は年間36枚)】

●高齢者ハイヤー利用助成

・65歳以上で12月1日現在で町内に居住されている方に、冬期間町内外の医療機関への通院に対しハイヤー代金の一部を助成します。【500円チケットを年間20枚(役場より2.5km圏域超に居住されている方は年間30枚)】

●外出支援サービス

・住民税非課税世帯に属する概ね65歳以上の高齢者で「要介護1以上」の方に、医療機関への定期的な通院時に送迎をします。【月1往復以内(居宅から30km以内)】※同乗する介護者1名も対象

「こんな時はどうしたらいいの？」

ご心配の事例を紹介

ケース 1 病気が治り、自宅に退院する方



退院



- ・介護認定を受けていない高齢者の方が退院後、ご本人の希望により「健康づくり事業」や「介護予防サービス」に参加することが可能です。
- ・生活支援サービスでは、助成条件にあえば「除雪」や「交通費助成」の支援が受けられます。
- ・一人で過ごすのが「ちょっと不安」という方は、「生活管理短期宿泊事業（ショートステイのようなお泊り）」により和風園で短期間の宿泊ができます。



○健康づくり事業

⇒健診、相談、訪問、栄養・運動指導など

○介護予防サービス

⇒パワリハ、生きがいディサービスなど

○生活支援サービス

⇒除雪、交通費助成、雪囲いなど

生活管理短期宿泊事業

和風園で短期間お預かりして、身の回りのお世話をします。

ケース 2 病気は治ったが、体力低下や物忘れが進み、療養病院 自宅での生活が不安な方



病院

転院



退院



・例えば深川市立病院「地域医療連携室」の担当者と町の「地域包括支援センター（役場保健福祉課）などが連携しご本人やご家族の希望を聞き、より良い方法を提案します。【入院中に介護認定の申請が必要な場合には、保健福祉課（包括支援センター）の職員が入院している病院へ伺います。】

◎介護認定を受けると①～③以外にも住宅改修や福祉用具レンタル等のサービスが受けられます。

①ヘルパー訪問

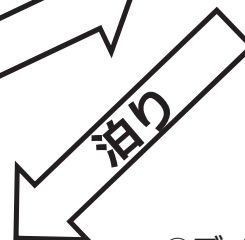
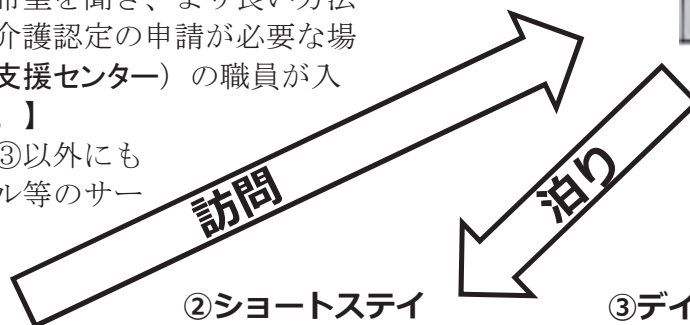
家事、身の回りのお世話、身体的な介助『和風園ヘルパーは24時間365日』

②ショートステイ

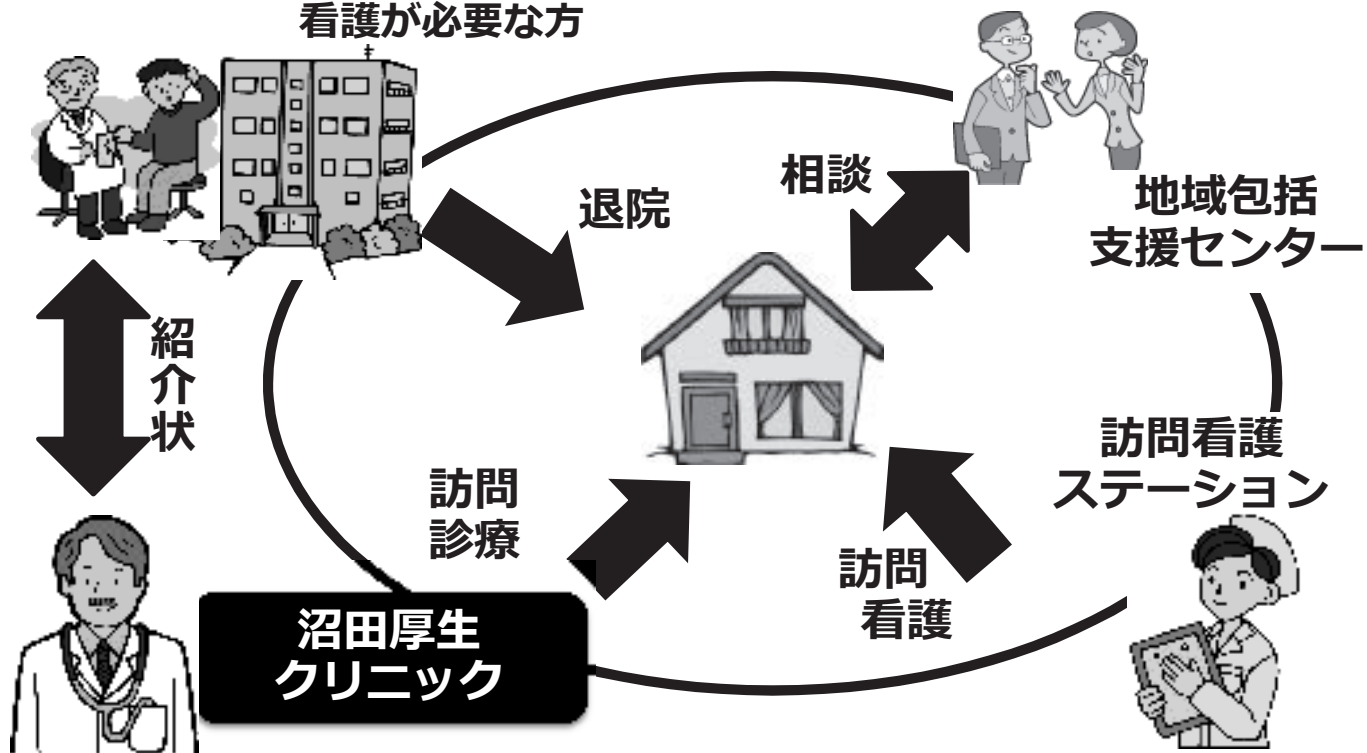
家族留守中の預かりとお世話、体力回復のための休息休養

③デイサービス

食事、運動、入浴、健康チェック（送迎付き）

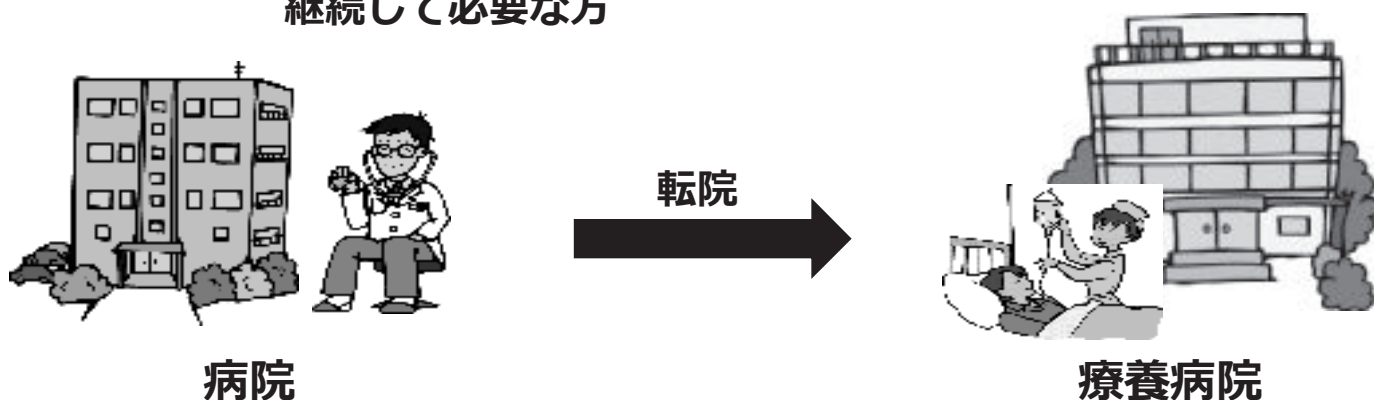


ケース 3 病気は治っておらず、退院後も自宅で 医療処置や 看護が必要な方



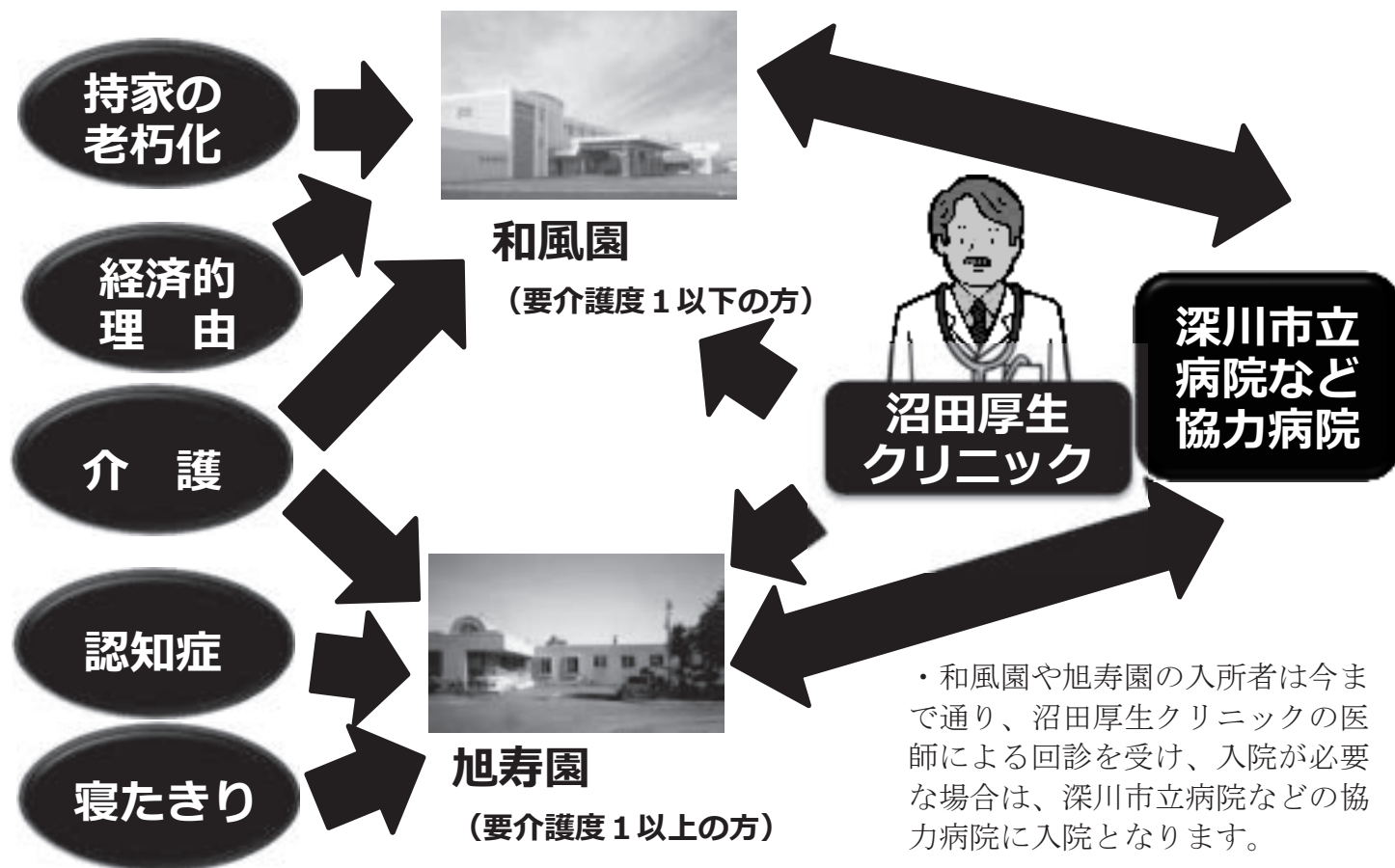
- ・病院の「地域医療連携室」と町の「地域包括支援センター」、「居宅介護支援事業所」が連携して「訪問診療」や「訪問看護」の利用についての相談をお受けいたします。
- ・例えば、退院後に「沼田厚生クリニック」の医師による訪問診療を受けて、それ以外の日は「訪問看護ステーション」の訪問看護を受けることができます。

ケース 4 病気は治っておらず、医療機関での看護や処置が 継続して必要な方

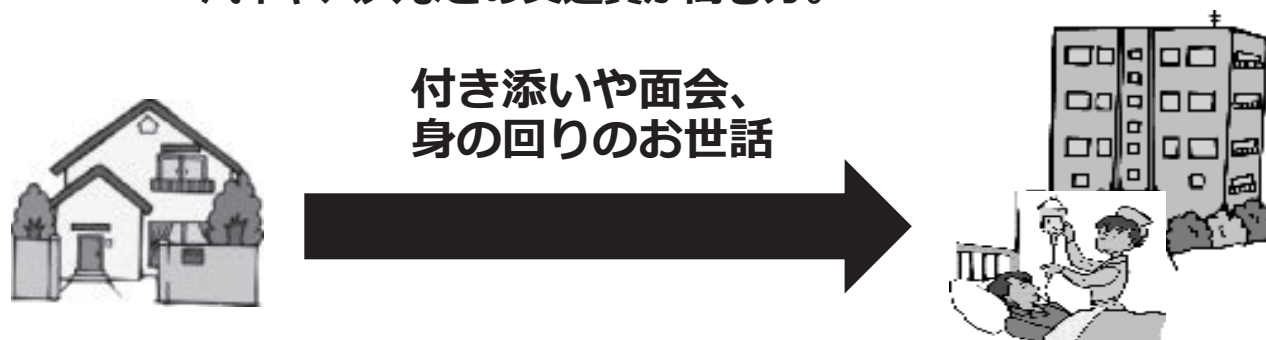


- ・病院の「地域医療連携室」で転院先の「療養病院」などへ調整をします。
- ・例えば、深川市立病院から「療養病床を持っている」深川第一病院への転院は、ご本人やご家族に相談しながら、入院中の病院で調整されます。

ケース 5 心身の理由や社会的理由等で 自宅で暮らすことができない方



ケース 6 車を所有していないので、身の回りの世話や手続きのために、家族が町外の病院に行くことができない方。 汽车やバスなどの交通費が嵩む方。



・新たな制度として「高齢者等入院交通費助成事業」を創設する予定です。

全員が 65 歳以上の世帯の方や独居高齢者の方が、町外医療機関に入院した場合、付き添いなどに必要な交通費を一部助成します。

・入院日数 2 日ごとに 500 円、入退院時は各 5,000 円を加算します。(日数に上限があります)

[助成金の計算例]

(例) 10 日間入院した場合。

$500 \text{ 円} \times 5 \text{ 単位} (10 \text{ 日} \div 2 \text{ 日}) + \text{入院時} 5,000 \text{ 円} + \text{退院時} 5,000 \text{ 円} = 12,500 \text{ 円}$ を助成します。

ケース 7 沼田厚生クリニックに外来通院しているが、入院が必要になった場合どうなるの？



- ・沼田厚生クリニックの医師が、患者さんの症状に合わせて「専門病院を紹介」してくれます。
- ・専門病院での治療後は、沼田厚生クリニックの外来で医師の診察後に薬を処方することもできます。

相談窓口

**地域包括支援センターへご相談ください
(役場 保健福祉課内)**

沼田厚生病院の無床診療所化に伴い、町民の皆様が心配される様々なケースが想定されます。

例えば、『介護サービスを利用したいがどこに行けば良いのか？』、『家族が留守の時、高齢者が一人で心配』『家族で介護してきたが、大変になってきた』、『歩行が不安定で危険なので、家の段差を無くしたり、手すりを付けたい』・・・などいろいろな「困った！」の時には、



**地域包括支援センター
(35-2120)**



にご相談ください。

ご自宅や、入院先の病院に出向いてご相談をお伺いします。

式 人 成



1月12日（日）、ゆめつくるで、成人式が行われました。
会場は、24名（男性9名・女性15名）の新成人が集まり、その全員が同窓生であり、久しぶりの再会に和やかな雰囲気にも包まれていました。
式典では、金平町長から『あなたがとう』の数だけ幸せになれる。これから大人として確固たる信念を持つてほしいです。』とお祝いの言葉があり、成人宣言では、小西貴士さんと門間理沙さんが「自立し、感謝の気持ちを持った大人になりません」と述べていました。
「保護者」は、「子ども達」の晴れ姿を、感慨無量の様子でカメラ等に収めていました。



栗栖義貴さん

今までお世話になった方々に対して、恩返しができる大人になります。



片岡浩規さん

大人の仲間入りという気持ちと、これから一人の大人としての責任感と自覚を持つて行動しなければなりません。という気持ちです。



安部友麿さん

いろいろなことを乗り越えて頑張ります。ていきたいと思います。



吾子達郎さん

これから沼田で生きていきたい。責任を持つて仕事に取り組んでいきたい。



青木柊人さん

これからは与えられるものだけでなく、目標に手を伸ばす経験と努力を重ね、社会で生きていけるような人を目指します。



藤村健太郎さん

これから自分としての行動と責任を持ち、何年後か社会に出る働き方、世の中になつたとき、どのように学業に励みたいと思います。



福島翔平さん

自覚と責任を持つてがんばります。



坂井貴紀さん

これから一人の大人として自覚を持っています。将来は飛行機の整備士になるので勉学に励み、心身共に鍛えたいと思います。



小西貴士さん

学生生活がまだ続きますが、成人としての自覚を持ち、頑張っていきたいと思っています。

20歳の決意（一部抜粋）



自立 と 感謝



栗中みずきさん

大人との仲間入りが、生かされて、一生懸命に頑張っています。



影山桃子さん

これからは責任と自覚を持って、心に掛けて本意の味で大人になれるよう努力していきます。



大西愛莉さん

今までお世話になった両親・家族・先生方に少しでも恩返ししていきたいです。



池田沙姫さん

自分らしく、日々前進していきたいと思っています。



池田亜姫さん

何事も一生懸命に取り組んで、毎日充実するように過ごしたいと思います。



神 彩子さん

一つの一つの自分な言動に責任を持て、人になりたいたい。



嶋田紗英さん

成人という人生の大きな節目を迎える、身引き締めます。



嶋田英莉さん

20歳になったと人となるので、社会と命に努めています。



澤田早希さん

今まで支えられてきたことに感謝して、これから支えていく人になろう。



黒田梨奈さん

就職も決まり、4月から社会人として働くので、自覚をしつかりと持ち、責任を持っています。



門間理沙さん

今以上に自分の言葉と行動に責任を持って、これからは社会人として頑張ります。



林 美那さん

ここまで育ててくれた両親や家族に感謝し、少しずつ恩返ししていきます。



長谷川梨乃さん

様々な面での成長とコミュニケーション力の上を目指しています。



中村朱李さん

自分の行動に責任を持てる大人になりたい。



徳永愛弓さん

見た目も中身も素敵な女性になりたい！

まちのニュース

Numatatown News

明日萌の里・ほたるの里

歩くスキーの集い実行委員会が開催

平成25年12月3日（火）に、ふれあいで、平成25年度第1回明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い実行委員会が開催されました。

町内の各団体で構成される実行委員会で、『明日萌の里・ほたるの里』の魅力伝えようと冬期間の観光客誘致で地域の活性化を目的に毎年3月に実施し、約300名程度の参加者が来町しています。

会議では、今年度の実施計画が審議され、平成26年3月29日（土）前夜祭、3月30日（日）に本番と決定しました。

詳細は、実行委員会事務局（沼田町役場商工観光課内：電話35-2112）までお問い合わせ下さい。



郵便局が記念切手を寄贈

沼田郵便局は、平成25年12月3日（火）に「消防団120年・自治体消防65周年」の記念切手を沼田消防団に寄贈しました。

1894年（明治27年）の消防組発足から、平成26年で120年を迎えることから、日本郵政では記念切手を発行しました。80円の郵便切手で、江戸から明治に活躍した絵師・豊原国周の錦絵「東京一二伊達競」から、はんてんを着て、まといを持った江戸町火消に扮する人気歌舞伎役者の絵をデザインに活用しています。

これに伴い、澤田郵便局長が渡辺消防団長へ10枚つづりの切手シートを手渡ししました。



石川晶子さん

永年勤続民生委員・児童委員表彰

民生委員・児童委員の石川晶子（旭町西）さんが、平成25年12月6日（金）に、民生委員・児童委員委嘱状交付式の席上で、金平町長から、永年勤続民生委員・児童委員表彰の伝達を受けました。

永年勤続民生委員・児童委員表彰は、地域の福祉向上の為に努力された功績を讃える目的で、通算17年以上在任した民生委員・児童委員を対象に全国民生委員児童委員連合会会長が表彰するものです。

引き続き民生委員・児童委員に再任されました石川委員、今後ともよろしくお願いします。



安全で暮らしやすい『沼田町』へ

道路除雪作業に伴う交通安全大会

平成25年12月6日（金）に、沼田町総合福祉総合センター（ふれあい）大会議室で、道路除排雪に伴う交通安全大会が開催されました。

冬期間の生活交通路線の確保を業務とする約25名の運転手や関係者が集まり、講師に沼田警察署の井田朗地域・交通係長を招き、吹雪など視界不良時における交通事故の発生状況についての講演を受けていました。

運転手を代表して、高橋俊彦さんは「すべての人々が思いやりとゆずり合いの気持ちを基本とし、飲酒運転は勿論のこと交通規則を遵守し、安心して暮らしやすい『沼田町』を築くことをここに宣伝します」と交通安全を誓い閉会しました。



悪徳商法の被害にあわないために 『はあとふる沼田』研修会



平成25年12月7日(土)に、沼田町総合福祉総合センター(ふれあい) すこやかホールで、『はあとふる沼田』研修会が開催されました。

講師の深川消費者協会会長の藤川ツヤ子さんは、「悪質業者に騙されないよ」と題し、悪徳商法に対する用心のポイントと、万が一トラブルにあったしまった場合の解決ポイントを伝えてくれました。

約50名の参加者は、日常生活において、自宅訪問や電話勧誘販売等をしてきた業者に対して、契約する前に家族や友人に相談し、今一度考えてみる必要がある事を再確認しました。

熱戦の連続

教育長杯争奪小学生バレーボール大会



教育長杯小学生バレーボール大会が、平成25年12月7日(土)に、町民体育館で開催されました。

北空知管内の5年生以下の大会として今季2戦目を迎える沼田町教育長杯は、8チームが参加。沼田からは女子チームと男女混合チームの2チームが出場しました。

会場は、ラリーの続く好勝負が連続し、観客席から保護者や家族の歓声があふれていました。

沼田勢は、4年生以下で構成された男女混合チームが予選リーグ敗退。5年生主体の女子チームが惜しくも準優勝となりました。

なお、結果は以下の通りです。

優勝：北竜ドラゴンキッズ

準優勝：沼田リトルポプラA(女子)

3位：深川白樺・妹背牛アタッカーズ

本のおまつり

図書館フェスティバル



図書館フェスティバル2013が、平成25年12月7日(土)に、ゆめくくで開催されました。

会場では、古本市、輪投げやまと当て等のミニゲームや喫茶コーナー、大型絵本の読み聞かせ等のプログラムが用意されていました。

古本市では、図書館で除籍した雑誌や町民から提供いただいた読まなくなった本を、町民の方に無料で譲渡しました。

約200名の来場者は、興味のあるプログラムを楽しんで、思い思いの時間を過ごしていました。

沼田保育園お遊戯会



平成25年12月8日(日)に、沼田保育園お遊戯会が、沼田保育園で行われました。

会場には、園児を見守る保護者や家族で埋め尽くされ、熱気が立ち込めていました。

園児たちは、この日の為に、日頃から練習した成果を発揮し、元気に楽しそうに、楽器の演奏やお遊戯を発表していました。

中西育友会長は、「保護者皆様のご協力で、無事実施できた事を感謝します」と述べていました。

いきいき大学閉講式

いきいき大学閉講式が、平成25年12月9日（月）に、ほろしん温泉ほたる館で行われました。

閉講式の前には、いきいき講演会として、講師に木村方一化石館名誉館長を招き、「沼田の化石について」講演を頂き、化石の研究に没頭したエピソードやヌマタネズミイルカを発見した時の思い出話を聞きながら、海に囲まれていた大昔の沼田を想像していました。

閉講式では、皆勤賞の授与があり、14名の「学生」が、いきいきとした表情で喜びをかみしめていました。



親子の絆を深める

ベビーマッサージ

沼田町子育て支援センターが主催する「ベビーマッサージ～ママ、パパの手から大好きを伝えよう～」が、平成25年12月11日（水）に、ふれあいで行われました。

0歳から就学前の幼児とその保護者を対象に、親子のスキンシップが、「免疫力・消化機能の向上」「脳神経の発達」「夜泣きの解消」等の様々な効果を発揮する体験を通じて、親子の絆をより一層深める事を目的に開催されました。

10組程の参加者は、講師の小西早苗さんの指導により、なじみのあるわらべ歌に合わせて楽しくベビーマッサージを体験しました。



小学校で

出前読み聞かせが行われました。

平成25年12月12日（木）に、小学校で、図書館司書による出前読み聞かせが行われました。

本に親しむ機会を増やし、学力向上に繋げようと、教育委員会と小学校が企画し、昼休みを利用して多目的ホールで、児童用絵本「きょうのえほん」を朗読しました。

今回の対象は、小学1年生で、先生や図書館司書が朗読している間も、全員が集中して聞いていました。



雪なごりの原酒、雪の科学館で長期熟成開始！

沼田町の雪中ブランド日本酒として町内外に広く人気の「雪なごり」の原酒の長期熟成が、平成25年12月12日（木）、町生涯学習総合センター「ゆめっくる」に併設されている雪の科学館で始まりました。

今年の秋に収穫されたばかりの沼田産雪中米を原料として、高砂酒造の蔵元が丹精込めて醸造。雪の科学館に4,000ℓが運ばれ、3月中旬まで熟成されます。

雪の科学館の室温は2～5℃で、湿度は80%以上。安定した気温の中で熟成された原酒は味の角が取れてまろやかになり飲みやすく、高い湿度は風味を飛ばさないのに最適との事です。

熟成を終えた雪なごりは、今年4月頃から、数量限定の生貯蔵酒と通常火入れ酒の2種類として、町内の酒販組合加盟店などで販売される予定です。

雪室への搬入に立ち会った小泉清彦酒販組合長は「米の出来も良く、いい香りがする」と、今年の雪なごりの出来に自信を見せていました。



歳末特別警戒出動式



平成25年12月13日（金）に、沼田警察署で、歳末特別警戒出動式が実施されました。

歳末を控え、金融機関やコンビニエンスストアを対象とした強盗事件など各種犯罪の発生を防ぎ、交通事故の防止を図る為、歳末特別警戒を実施していました。

出動式では、金平町長、佐野北竜町長等、約40名の出席のもと、木村警察署長の号令により、パトロール車両が一斉に町内各所に向けて出動しました。

自主防犯ボランティア団体『夜高パトロール』の隊員も、町内主要幹線を中心に巡回を始めました。

なお、不審者や不審車両を目撃した場合は、沼田警察署（35-3110）までご連絡願います。

高齢者元気100倍！教室閉講式



高齢者元気100倍！教室閉講式が、平成25年12月13日（金）に、沼田町健康福祉総合センター「ふれあい」すこやかホールで行われました。

閉講式を前に、花王プロフェッショナル・サービス㈱メディカルケアグループの水上秋悦さんと池上聖子さんを講師に招き、「手指衛生とハンドケア」をテーマに、講演を行いました。

講師は、手指衛生は、正しく全員で行う事が大切で、感染予防対策には手洗いが一番重要で効果的な対策であり、手の清潔に注意する事は、自分自身はもちろん家族を感染から守れると話していました。

閉講式では、町関連事業に年間15回以上参加した19名に、町長より『元気100倍！』賞の表彰がありました。

閉講式終了後、参加者全員で町長を囲み、集合写真を撮影し、来年度の再会を誓い、今年度の事業を終了しました。

子どもをトラブルから守る

「ケータイ安全教室」



平成25年12月17日（火）に、沼田小学校で、「ケータイ安全教室」が開催されました。

教室は、保護者が子どもと共に携帯電話と正しく付き合う為に、専門の講師を呼んで、「子どもとインターネット社会」の現状を知ってもらう事を目的に実施されました。

講師から、普及が進んでいるスマートフォン（高機能携帯電話）は、常に新しい基本ソフトに更新し、ウイルス対策ソフトの利用を確認の上、機能や利用条件に注意してアプリケーションのインストールを行うようにアドバイスがありました。

保護者は、親子で携帯電話について話し合い、子どもの成長段階に応じてルールを定期的に見直し、親子間の認識のズレを再確認する事の重要性を学んでいました。

食生活改善協議会が

食育用のおもちゃを制作



食生活改善協議会が、料理教室用のおもちゃを制作して、食育活動に取り組んでいます。

布製おもちゃの食べ物の作成は、昨年10月の研修で、旭川市食生活改善協議会での事例を視察した事を参考に、取り組み始めました。

作業場所のふれあいでは、会員でパッチワークが趣味の松井喜美子さんを中心にメンバー9人で、果物や「タコさんウインナー」等の子どもが親しみやすいおかずや健康的な食材を説明する為のカルタを作成していました。

池内会長は、「今後開催の料理教室で子ども達の喜ぶ顔が見たい」と話してくれました。

和風園でクリスマスコンサート

町内の歌声サークル「ドリーミー♡グランマ」のメンバー15人が、平成25年12月20日（金）に和風園を慰問しました。

訪問したメンバーは、フラダンスやサンタクロースの格好になり、持ち前の美声を披露しました。また、懐かしの名曲「高校3年生」では、セーラー服姿で登場し、入所者約100名を盛り上げてくれました。

メンバーが衣装替えをしている間には、入所者の歌や職員による踊りも披露され、入所者は、楽しいひとときを過ごしました。



健やかな成長を支援

乳幼児健診

平成25年12月25日（水）に、乳幼児健診が、ふれあいで実施されました。

乳幼児健診は、子どもの心身共に健やかな成長を促し、保護者が安心して適切な育児を支援する事を目的に、3ヶ月児から3歳2ヶ月児を対象に、2か月に1回実施されています。

今回は、今年度5回目で、尿検査、歯科検診、身体測定や保健師による問診、小児科医による診察、各種指導（栄養、歯科、保健）を行いました。

会場では、子どもは遊びを楽しみ、保護者は医師や保健師等とコミュニケーションを取って日頃の疑問点を解消していました。



「明」るい年に

年越しイベント「温故知新」

例年恒例の「年越しイベント『温故知新』」が、12月31日（火）から1月1日（水）に、沼田神社特設会場で行われました。

今回で17回目を迎え、商工会青年部、農協青年部、役場青年女性部等で構成する2013-2014年越しイベント実行委員会が主催で、御神火（ごしんか）を札幌の北海道神宮から五ヶ山牧場まで夜通し歩いて持ち帰り、その火で大きな火文字を輝かせています。

今回この大役の「歩き隊」を務めたのは、町職員の宮沢勝さんと林亮太さん、UHB（北海道文化放送）の小俣誠一さんでした。五ヶ山牧場には、沼田小学生から募った火文字「明」が灯されました。

神社の特設会場では、お神酒やココア等が振る舞われ、歩き隊の3人を迎えるセレモニーの後、来場者全員のカウントダウンで新年を迎えると同時に華麗な花火が鳴りました。また、太鼓の演舞も響き渡り、天候も良い中で2014年がスタートしました。



恒例の新春福引抽選会

1月2日（木）に、観光情報プラザで、商工会等が主催で、恒例の新春福引抽選会が行われました。

会場は、10時の開始前から多くの方が、長蛇の列を作っていました。スノッピカードと引き換えた抽選券を片手に、近くに並んだ町民と新年の挨拶を交わしながら、自分の順番を待っていました。

景品は、ポイントカード会商品券等の他、特賞としてユーロや韓国ウォン、アメリカドルの現金つかみ取りが用意されていました。

また、駐車場では11時から、みかんまきが行われ、抽選券入りのみかんを拾った参加者は嬉しそうに笑顔で抽選に向かいました。

抽選は、特賞を知らせる鐘が鳴ると、歓声があがり、盛り上がりを見せました。また、特賞が当たった方は、喜びの表情で換金された現金を手にしていました。



芸術文化鑑賞事業 「林修講演会」



1月7日（火）に、町民会館で、芸術文化鑑賞事業「林修講演会～伝わる言葉と伝える言葉～」が行われました。

林修さんは、予備校講師として、東進ハイスクール・東進衛星予備校で東京大学・京都大学入試現代文対策を中心に担当しています。東進ハイスクールのテレビコマーシャル「いつやるか？ 今でしょ！」が話題となり、2013年新語・流行語大賞年間大賞を受賞するなど予備校講師としては異例の著名人となった方です。

会場は、町内外の幅広い世代から約550人の来場で、熱気が立ち込めていました。

講演は、沼田町の印象や言葉の大切さ、子育て等に関する内容で、「言葉は、その人の奥底にある想いを伝える手段として使ってほしい」、「コミュニケーションは、伝えたい気持ちと聞きたい気持ちのバランスを考えて行ってほしい」とお話しされていました。

沼田消防出初式



1月8日（水）、新春恒例の消防出初式が、ふれあい前で行われました。

出初式は、消防の仕事始めとされ、江戸時代に始まったとされています。

当日は、雪が降る中、約200名の来賓や団員が集まり、町長の挨拶や消防長の訓示等の後、農協前へ移動し、町民会館まで分列行進を行いました。

また、町民会館では、引き続き、永年勤続表彰や新年交礼会が行われ、来賓や団員相互の交流をしました。



生活・学習習慣定着へ

学習サポート事業「明日萌」

冬休み中の1月7日～10日に、ゆめっくるで、学習サポート事業「明日萌」が行われました。

学習サポート事業「明日萌」は、小中学生の更なる学力向上を図る事を目的に「沼田町まなび環境づくり推進会議」が事業主体となり、長期休業中に実施されています。

毎日約60名程度の小中学生が、各自で持参した宿題やドリルの問題の解決に、主体的にチャレンジしていました。

講師は、北海道教育大学、北星学園大学、北翔大学の学生や、学校長、地域おこし協力隊員、小学校補助教諭、篠原化石館長等が日替わりで務め、問題につまずいている小中学生の現状に応じ、問題解決に対する必要な考え方や方法を、ていねいに説明しました。

また、本庄教育総合アドバイザーから、日程の最初と最後の礼と、荷物の置き場所や持ち物等に対するルールや決まりについての指導があり、小中学生の生活習慣定着に対する取り組みもされていました。



お父さんも一緒

「新春こどもフェスタ」

1月11日（土）、ふれあいで、「新春こどもフェスタ」が行われました。

「新春こどもフェスタ」は、父親の子どもと触れ合う機会を設けようと、教育委員会「キッズクラブ」と地域子育て支援センター「びよびよクラブ」の2クラブ合同企画として、初めて実施しました。

会場は、巨大すごろくゲームやおはなし会や餅つき、抽選会等のイベントを楽しむ12組の親子連れで盛り上がっていました。

風揚げづくりに協力した橋田賢吾さんは「昔の遊びを父親にも伝える機会があって良かったです。」と話してくれました。



「110番は慌てず正確に」

沼田警察署開放による業務体験



1月10日（金）、沼田警察署で、業務体験会が行われました。会場では、町内の高齢者11名が集まり、110番通報の体験や事件発生時の現場活動体験を行いました。

参加者は、110番通報に対応する警察署内での動き、指紋のとり方といった、初めての体験に、好奇心旺盛に取り組んでいました。

110番通報の要領や事件現場活動の留意点を理解し、今後の警察業務への協力の必要性を肌で感じていました。

一人ひとりに応じた支援を

「特別支援教育セミナー」



1月14日（火）、ゆめっくるで、「特別支援教育セミナー」が行われました。

「特別支援教育セミナー」は、発達障がいを持つ児童生徒に対して、より良い支援を施す為に、教職員の資質向上を図る事を目的に、沼田町、妹背牛町、秩父別町、北竜町、雨竜町、幌加内町で構成される北空知地区就学指導協議会が実施しています。

当日は、19名の教職員が参加し、空知教育局義務教育指導班の岩橋指導主事による「通常の学級における指導・支援の工夫」と札幌大学の前野講師による「発達障がいの理解と対応」の2講義について学んでいました。

行政区長会議が開かれました



1月16日（木）、生涯学習総合センター「ゆめっくる」において、平成26年行政区長会議が開催されました。

行政区長は、各行政区の代表として選出された30名の町民が、町長から1年任期で委嘱され、町からの様々なとりまとめやお知らせなどの連絡業務を行います。

金平町長からは「各行政区において、地域担当職員制度や地域提案型まちづくり事業を活用してほしいです」と挨拶がありました。

会議では、各担当課長から「はあとふる沼田」の福祉防災マップの更新について、雪害予防対策本部の設置や防災などの説明が行われました。

生きがいデイサービスで調理実習



1月23日（木）に、ふれあいで、生きがいデイサービス参加者による調理実習が行われました。

調理実習は、介護予防普及啓発事業の健康教室として、生きがいデイサービス参加者を対象に、要介護状態の予防とその発症を遅らせる事を目的に実施されました。

11名の参加者は、社会福祉協議会看護師による血圧測定を行った後、役場管理栄養士からレシピの説明を受け、5感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を使い5品（主食のご飯、主菜の酢豚、副菜のホウレン草和え、汁物のあったかスープ、菓子のフルーツ寒天）の調理を始め、楽しそうにベテランの腕前を発揮していました。

一流の音色

大平まゆみヴァイオリンリサイタル

1月25日（土）に、町民会館で、大平まゆみヴァイオリンリサイタルが開かれました。

大平まゆみさんは、札幌交響楽団のコンサートマスターを務めながら、ソロの活動、地域でのコンサートから病院・福祉施設での訪問演奏など、音楽の裾野を広げる活動を積極的に行っています。

コンサートマスターは、指揮者と共に、オーケストラの演奏をとりまとめる役割で、一般には第1ヴァイオリン（ヴァイオリンの第1パート）のトップ（首席奏者）がこの職を担っています。

会場では、約120名が、ピアノとのハーモニーから奏でる演奏を楽しんで鑑賞していました。



地域農業発展に多大な功績

堀田輝幸氏叙勲祝賀会

1月26日（日）に、町民会館で、堀田輝幸氏叙勲祝賀会が開催されました。

堀田氏は、平成3年に沼田町土地改良区理事に就任し、その力量と誠実な人柄で平成7年2月に理事長代理、平成11年2月には理事長に就任し、公平な判断力と責任感で、土地改良事業の円滑な推進に尽力し、組合員の全幅の信頼を得ています。

それらの功績が認められ、平成25年秋の叙勲において、旭日双光章を受章しました。

会場には、約210名が来場し、堀田御夫妻を祝福しました。



ようこそ沼田へ

有澤沼田分屯地司令歓迎会

1月28日（火）に、ほろしん温泉ほたる館で、有澤武浩沼田分屯地司令の歓迎会が行われました。

有澤司令は、兵庫県出身の44歳で、平成5年に陸上自衛隊へ入隊し、昨年12月1日付で、静岡県にある富士駐屯地の開発実験団から沼田弾薬支処沼田分屯地に着任しました。挨拶では「雪の多さに驚いています」と話していました。

なお、歓迎会は、新年交礼会と併せて開催され、約70名の参加者の交流で盛り上がっていました。



すくすく教室

1月29日（水）に、ふれあいで、すくすく教室が行われました。

当日は、保護者の育児についての不安や疑問の解消や、保護者同士の交流を広げるきっかけづくりを目的に、10組の親子が参加しました。

会場では、図書館司書による絵本の読み聞かせや、子育て支援センター保育士から「ふれあいと発達に関する」講話や手作りおもちゃの紹介の後、役場保健師より子どもとのスキンシップの重要性について説明がありました。

保護者は、子どもに自由遊びをさせながら、情報交流を楽しんで、会場を後にしました。



百人一首って楽しい 子ども交流広場



1月29日（水）に、沼田小学校多目的教室で、「こども交流広場」として百人一首の体験が行われました。

「こども交流広場」は、教育委員会が、昔ながらの遊びや文化を児童に伝えようと、講師に、町内で活躍する「幸齢者」を依頼して実施しています。

今回は、11名の児童が、「百人一首」を愛好者の指導で、札の読み方や並べ方を学んだ後、実際に児童同士で対戦し、札を取った喜びを感じていました。

愛好者の一人である石脇敏彦さんは、「これからも機会があれば百人一首の魅力を伝えていきたいです」とお話していました。



開拓120年記念事業町民検討委員会



1月30日（木）に、役場2階町民談話室で、沼田町開拓120年記念事業町民検討委員会が行われました。

会議では、実施計画（案）について、事務局から説明の後、議会からの提案等に対する意見も出されました。

委員からの意見は、町長へ報告され、詳細の検討がされます。

なお、実施計画は、広報などで周知する予定となっています。

「はあとふる沼田」説明会



1月31日（金）に、ふれあいすこやかホールで、「はあとふる沼田」説明会が行われました。

事務局から高齢化の現状などが説明され、支援が必要な高齢者や災害弱者などの情報共有を図る「福祉防災マップ」と「福祉防災台帳」の更新作業を各町内会に依頼しました。

町内会長や自治振興委員、行政区長、民生・児童委員等の約80名の出席者は、改めて地域全体で高齢者等の見守りの重要性を確認しました。

ありがとうございました

ふるさとづくり基金へ寄付

堀田輝幸さん

1月20日（金）、沼田町土地改良区理事長の堀田輝幸さんから、町へ100万円の寄付がありました。

堀田さんは、「町の為に役立てて下さい」と金平町長へ寄付を手渡しました。



渡部稔さん

2月17日（月）、前沼田消防団長の渡部稔さんから、町へ100万円の寄付がありました。

渡部さんは、「お世話になったお礼です」と金平町長へ寄付を手渡しました。



除雪ボランティア

6団体が高齢者のお助けマンに

1月21日から2月15日にかけて、町内の高齢者住宅各所で、除雪ボランティアが行われました。

各団体では、地域貢献の一環として、除雪ボランティアを実施しています。

作業は、安全に配慮し、声を掛け合い、スコップを使いながら進められ、「雪が重い」「雪が硬い」と悪戦苦闘しながらも、参加者一丸となって雪を下ろしたり、はねたりしました。また、ショベルが活躍した団体もありました。

入居している高齢者は、「大変助かります」と感謝していました。

除雪ボランティア実施団体

団 体	月 日	場 所	人 数
沼田技能協会	1月21日	旭町高齢者用公営住宅	12名
沼田町役場青年女性部	2月8日	公営住宅（南町・旭町・7町内）	10名
沼田中学校	2月8日	公営住宅（南町・旭町・7町内）	20名
沼田野球少年団「ヤングイーグルス」	2月8日	公営住宅（南町・旭町・7町内）	19名
道央開発・シンオシマ経常建設共同企業体	2月10日	更新	7名
宮脇大木建設	2月15日	恵比島	19名



沼田技能協会



役場青年女性部



沼田中学校



ヤングイーグルス



道央開発・シンオシマ



宮脇大木建設

★健康イパソ！大作戦事業★～私の健康が創る「沼田の未来」～



運動

ログ活！

～身体活動・運動の普及啓発事業～

健康

健康イチバン！大作戦として「ログ活！」を12月から実施しています。
活動量計を身につけて、自身のカラダが「わかる」ことを目的としています。

ログ活！とは

カラダのデータを計測し、**ログ（記録）**を取る活動のことをいいます。

右下の写真のような「活動量計」というものを数週間着用します。

1日の歩数はもちろん、歩行距離、消費カロリー（身体活動量）、脂肪燃焼量などを計測できます。

【はかる】

活動量計をカラダにつけ、生活で消費されるエネルギーや脂肪燃焼量などを「はかる」。



【わかる】

「はかる」を通じて、自分のカラダをどのように使っているか、現在の状況が「わかる」。



【かわる！】

自分のカラダについて「わかる」ことで、生活を振り返り「かわる」ことができます。
町の健康運動指導士や管理栄養士、保健師がサポートします。



活動量計

- ・消費エネルギー（カロリー）
→安静時（基礎）代謝量、活動量
- ・脂肪燃焼量
- ・歩数、歩いた距離
などがわかります。

参加者の声《41歳女性》

現在申込は50名程度、順次、活動量計を貸出し実施中です！

各世代、安静時代謝量に問題はあまりありません。しかし、沼田の未来を支える働き世代は活動量が少ないのが問題です。

ログ活を通じてカラダを見直してみませんか？

【はかる】

活動量計を2週間程度身につける。
実際に、消費エネルギー（カロリー）を測定。

【わかる】

安静時代謝量、活動量についてわかる。
買物等、出かけた時に活動量が増加する事がわかる。
間食をとっていることがわかる。

【かわる！】

家でエアロバイクをすることを決意！
買物先ではエレベーターではなく階段を使用！
間食は控える！

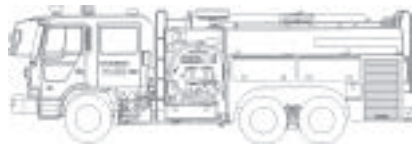


保健福祉課健康グループ

担当：松野

《3週間での変化：体重－2.3kg 体脂肪－3.8%》

健康は「他人事」ではなく「自分事」です！！



消 報

深川地区消防組合
深川消防署
沼田支署予防担当
TEL 35-2050

沼田消防「防火標語コンクール！」について

沼田消防では、「暮らしの中の防火に関する標語」と題して、住宅火災の防止や、万一の火災に備えた住宅用火災警報器や消火器の設置などを呼びかける暮らしの防火標語を募集しました。

24名の方に参加していただき、39編の標語の応募がありました。多数の方にご協力していただいたおかげで、そのどれもが大変すばらしい作品でした。2月4日に厳正な審査を行い、ここに審査結果を発表させていただきます。

最優秀作品	「後にしよう！ その油断が 火事になる」	中学生	山森 美空 様
		中学生	吾子 碧 様
優秀作品	「消した火を あなたのその目で もう一度」	一 般	吉田レイ子 様
優秀作品	「火あそび しません 絶対に！」	幼 児	深瀬希羅斗 様
優秀作品	「危険だ」と 鳴っているよ 警報器」	小学生	吉岡 直哉 様
佳作	「火の用心 後悔の火は 消えません」	高校生	青木 玲王 様
佳作	「警報器 つけたら点検 忘れるな」	一 般	村田 正幸 様



※最優秀作品は、沼田町火災予防の目標として消防車庫の上に5年間掲示いたします。掲示は3月上旬を予定しております。皆様、是非ご覧ください。

渡部 稔氏より 軽トラックの寄贈

平成25年12月27日（金）、前団長の渡部 稔氏より、沼田消防団へ軽トラックの寄贈がありました。

渡部氏から「災害現場での資機材の搬送など、火災予防に活用してください」と消防団幹部が整列する中、渡邊団長へ鍵の伝達が行われました。



大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器を設置**しましょう。
『**警報器 あなたの危険 知らせます**』



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35-3110



高齢者被害の

急増

振り込め詐欺



その振り込み大丈夫ですか？

振り込む前にもう一度考えてみよう！

いまの電話、本当にうちの孫だろうか？
急にお金が必要になったなんて？
…！
もしかして、これが、オレオレ詐欺？



孫に電話してみよう！

電話番号が変わったとの連絡があった場合は要注意です！

振り込む前に確認してみよう！

もしも、あんたさっき電話した？
えっ？してない？
お金振り込んで欲しいんじゃないの？



オレオレ詐欺

家族に相談してみよう！

年金の還付があるって、連絡があったんだけど…。

還付金詐欺



お巡りさんに相談してみよう！

雪下ろし 始める前に 自分と周囲の安全確保

例年、この時期は寒暖の差が大きくなり、氷のようになった屋根の雪が落ちて下敷きになったり、屋根の雪下ろし作業中の転落や除雪機に巻き込まれて、尊い命を落とすなどの事故が発生しています。十分注意しましょう。

- ◇ 屋根の雪は早めに下ろしましょう
- ◇ 危険な軒下を歩かないようにしましょう
- ◇ 除雪機による除雪は安全を確かめながら行いましょう



着実に前進を続けている

沼田町一貫・連携教育！

生涯
学習

今なぜ

一貫・連携教育なのか？

毎年 4 月に全国学力・学習状況調査という国による調査が行われております。この調査は、小学校 6 年生と中学校 3 年生が参加する事になっていますが、これまでの数年間の結果を見ると、学力調査においては沼田の小中学校の結果は共に、全道・全国を下回る傾向にあります。また、生活習慣を見ても、就寝時間が遅い傾向にあり、学習時間が極端に少ない、読書をする時間が少ない、1 日に 4 時間以上もテレビやゲーム、インターネットなど画面に向かっている子が中学生で 3 分の 1 もいる等の非常に気になる結果が表れております。



P 連と教育委員の懇親会の様子

子ども達の学力や生活習慣がこうした状況にある中で、現状の打開を図っていくためには、幼稚園から中学 3 年生までの 10 年間を一体として捉え、幼小中が、教育の方向性を共有しながら互いに連携し、その充実を図る、いわゆる「一貫連携教育」が子ども達の学力や先生方の授業力の向上に非常に有効であると考えています。



小学校
藤森校長



中学校
長野校長



幼稚園
田中園長

議論を交わす校長・園長

■具体的な取り組みとは？

幼小中の先生方、いわゆる教える側にいる人達が意識を繋げながら、自分のいる園や学校だけではなく、幼小中の今後 10 年を見通した中で如何にして子ども達を育てていくか、そうした視点に立って考える事が基本であり、そのための具体的な取り組み例としては、次の様なものが挙げられます。

○学習ルールの習得

10 年間を見通した学習の決まり（話し方、聞き方、ノートの取り方）を作成し、それぞれの段階に応じたルールを子供達に習得させます。

○教員の相互理解

幼小中の教員がお互いを知る事が不可欠です。幼小中間の引き継ぎに加え、授業参観や様々な研修や交流等を通じて、相互理解を深めます。

○授業の改善、課外活動の実施

教員間の交流や乗り入れ授業、幼小中合同による授業、部活動、各種行事等を通して、教師の指導力の向上と授業の理解度を高めます。

また、異年齢集団での活動を通して、自己有用感や尊敬、憧れの念等、心の成長を促します。

教職員の皆さんもこの取り組みへの理解を深めようと、各種研修会や先進事例の調査活動にも積極的に参加されています。



先進地視察研修
(江差町)



小中野球部の
合同練習

●現在の取り組み状況

昨年4月当初より、幼稚園、小学校、中学校では、今後一貫連携教育を進めていく上においての基礎となる10年間を見通した「学習ガイド」を基に各学年の指導を開始し、子どもには、今まで以上に「基本的な指導内容」（話し方・聞き方・ノート指導）を意識した指導を続けてきました。9月3日には、研究の成果を確認するために幼稚園、小学校、中学校が一堂に介し、新築された沼田小学校で、4年生と特別支援学級で授業を公開し、「基本的な指導内容」の子どもへの定着を検討しました。その後も、修正を加えながら、これらを意識した授業実践を進めています。

また、6月27日には、道内屈指の先進地である三笠市の関係者にお越しをいただき、一貫・連携教育についての理解を深めました。



講演会の様子

●家庭も一体となって取り組みを…

学校での学習を効果的にするためには、校外・家庭での学習が大切になってきます。沼田町一貫・連携教育推進協議会では、家庭学習ハンドブック“お家で学ぼう”を作成し、昨年4月に各家庭に配布し、活用を各家庭に呼びかけてきました。

10月には、沼田町PTA連合会役員、教育委員、一貫・連携協議会委員で沼田町の教育の現状を話し合いました。その結果、沼田町の子どもの生活を改善していかなければ、沼田っ子が同世代の子どもに後れを取ってしまう危機感から、一貫・連携教育推進委員会の「家庭地域部会」（PTAが主体）が、この冬休みから1日の日課を保護者と話し合い、日課表を作成し、チェックシートで確認する取り組みを進めています。



お家で学ぼう

●今後はどのように進んでいくのか？

26年度に予定されている内容

沼田中学校を会場に幼稚園、小学校、中学校の職員による、公開研究会を開催し、一貫・連携教育の進捗状況を確認します。また、サークル研修を7回に増やし、それぞれが持つ課題の解明に努めます。

その内容は、「基本的な指導内容」の定着化や幼小中学校間の授業交流、合同授業、夜高あんどんや部活動等課外活動における合同練習、特別支援学級における合同事業や一貫指導等の取り組みを具体化させる他、家庭地域部会と連携した校外生活改善に向けた取り組みを進めます。

●めまたっ子の明るい未来のために

これまでに、小中の先生方と共に、一貫連携教育の先進事例等を色々と調査して参りました。どの事例からも、この一貫連携教育というものは、子ども達は元より、先生方の力を高める上においても有効な取り組みであると、感じているところです。現に今の新学習指導要領でも、校種を超えた指導の連続性が求められており、その手段として幼小中の一貫教育が全国において展開され始めています。

そうした中、幼・小・中だけではなく、家庭・地域における課題を明確にした中で、それぞれが責任を持ち互いに連携を取りながら、発達段階に応じた教育の輪を広げていくことが、めまたっ子の明るい未来につながると考えております。

教育委員会としては、平成27年度までに一貫・連携教育としての一定のスタイルを構築したいと考えており、今後とも学校、保護者、行政が一体となって精力的に取り組むを進めて参ります。



熱く思いを伝える
生沼教育長

**沼田の子ども達が“15の春”に今まで以上の逞しさを
身に付けて巣立って行ってほしいという願いを込めて…**

北空知1市4町災害相互応援協定締結式

平成25年12月20日、金平町長をはじめ北空知1市4町の首長が深川市消防本部に集まり、災害時お互いに協力し合う「災害時相互応援協定」の締結を行いました。

協定には北空知管内で災害が発生した場合、必要となる資器材や備品などの提供や、人材の派遣、災害復旧に関する協力とともに、構成市町がそれぞれ友好を結ぶ都市で災害が発生した場合にも可能な限り応援に努めることが盛り込まれているのが特徴で、例えば沼田町の姉妹都市である富山県小矢部市が被災した場合、沼田町の要請により深川市なども支援にあたることとされています。

今後この協定を実行力のあるものとするため、各市町の担当部局が情報交換を行い、防災体制の更なる強化を図っていきます。



沼田町雪害予防対策本部からのお知らせ

～雪による事故・被害に注意を！～

■屋根の雪下しをする際は！

- (1) 複数で実施！ ⇒ 1人で行う場合は家族や近所に必ず声をかけましょう。
- (2) すべり止め！ ⇒ 靴やはしごにすべり止めをつける等の工夫を。
- (3) 周囲も確認！ ⇒ 下を歩く通行人や子供などに注意しましょう。
- (4) 携帯電話を持参！ ⇒ 作業のときは携帯電話を持参しましょう。

■除雪機を使用する際は！

- (1) 服装に注意！ ⇒ 機械に巻き込まれないように注意しましょう。
- (2) エンジンに注意！ ⇒ 雪詰まり時などは、必ずエンジンを停止してから取り除きましょう。
- (3) 周囲も確認！ ⇒ 通行人や車など、周囲を確認して行いましょう。

～気を付けて！冬道運転～ 雪道はすべりやすくなります。運転には次のことを心がけましょう。

- (1) 夏場より減速！ ⇒ 夏場に比べて10キロ以上スピードダウンを。
- (2) 車間距離を十分に！ ⇒ 走行中は十分な車間距離を。
- (3) 追い越し注意！ ⇒ 無理な追い越しは絶対しない！
- (4) 「急」はダメ！ ⇒ 急加速・急ハンドル・急ブレーキなど、「急」の付く操作は危険です。

※暴風雪などが予想されるときは、外出をひかえましょう。また、普段からテレビなどで天気予報のチェックをしておきましょう。

※ご自宅の暖房器の排気口が雪で埋もれないよう除雪するなど、普段から充分注意しましょう。

今月号の赤ちゃんです。 すくすく育ってね！

西田 ^{いちか}一華ちゃん（長女）

1月8日生まれ

お父さん 達也

お母さん 結花 （緑ヶ丘）



おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
大場 さのさん	12月16日	102歳	恵比島1
廣上 清さん	12月25日	82歳	旭町東
高橋 美枝さん	12月27日	87歳	更新
林 茂二さん	12月31日	81歳	市内7
坂本レツ子さん	1月3日	84歳	市内4
渡部 波さん	1月14日	91歳	市内2
林 順子さん	2月6日	70歳	旭町東
高橋 利雄さん	2月6日	88歳	旭町東
吾子 守夫さん	2月11日	79歳	市内3

人の動き

人口 3,410人（前月比 △4人）

（男性 1,607人 女性 1,803人）

65歳以上 1,301人（高齢化率38.2%）

世帯数 1,586戸（前月比 -4戸）

○総人口増減内訳

増加…転入：5人 出生：1人

減少…転出：4人 死亡：6人

（平成26年1月31日現在）

交通事故死ゼロ

573日

継続中！

（平成26年2月1日現在）